

## 日本教育大学協会が附属学校連絡協議会を開催

日本教育大学協会（会長＝出口利定・東京学芸大学長）は、附属学校連絡協議会を6月4日（土）、お茶の水女子大学講堂で開催した。

冒頭、出口会長の挨拶では、国立大学附属学校に関する当面の課題・動向として、個人情報に係る事件・事故への対策、いじめ問題対策、および教科書採択結果、理由等の公表対応の3点について特に取り上げ、各附属学校における対応の再確認を促すと共に注意喚起を行った。その他、学校一般における再確認として、主権者教育の在り方、性同一性障害、教員の政治的中立性について、今後より注目される非常に重要な動きとして言及があった。

協議会の前半には、現場の管理職である参加者が最新の知見を学ぶ機会を提供するために、阪根健二鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授を招き、「いじめ問題への対応について」をテーマに講演会を行った。ネットいじめへの指導、対応をはじめとする先進的な取り組みについて発表があり、終了後に質疑応答が行われるなど、盛況であった。

後半では、平成28年度日本教育大学協会事業計画（案）についての説明があり、続いて首藤敏元副会長（埼玉大学教育学部附属中学校長）から附属学校委員会の平成27年度の活動報告および今年度の活動予定等について報告があり、盛会裏に終了した。



出口日本教育大学協会会長



首藤日本教育大学協会副会長



阪根鳴門教育大学  
大学院学校教育研究科教授



会場の様子